- 港湾労働安全強調期間行事 -

令和7年度 主要港督励巡視 結果報告書





港湾貨物運送事業労働災害防止協会

港湾貨物運送事業労働災害防止協会 会長 藤木 幸太 殿

令和7年度 主要港督励巡視団 団 長 桝野 征通

令和7年度 主要港督励巡視 結果の報告について

令和7年度 主要港督励巡視について、令和7年7月22日から25日まで4日間にわたり、東京港、清水港、大阪港及び門司港の4港を実施いたしましたので、その結果を報告いたします。

目 次

Т	相互	亜
1	יועור	32

	1	令和7年度 主要港督励巡視 実施要領	1
	2	令和7年度 主要港督励巡視 団員・同行者 名簿	3
	3	各港 発表者・書記	4
	4	各港 班別名簿	5
	5	重点点検項目	9
II	絽	· 园式	
	1	概 要	13
	2	会長挨拶	15
	3	団長挨拶	17
Ш	巡	巡視結果	
	1	東京港	19
	2	清水港	24
	3	大阪港	29
	4	門司港	34
IV	角	曜 団式	39
V	╗]]	40

I 概要

1 令和7年度 主要港督励巡視 実施要領

(1) 趣旨

主要港督励巡視は、港湾労働安全強調期間行事の一環として、督励巡視団が主要港の安全衛生管理体制、港湾荷役作業及び労働災害防止活動の実態を全国的視野に立って巡視し、指導、意見交換等を行うことにより、各主要港における労働災害防止対策の推進、安全衛生水準の向上及び労働災害防止意識の高揚を図り、港湾貨物運送事業における労働災害の減少に資することとするものである。

(2) 日程、巡視対象港等

実施日	巡視対象港	担当総支部・支部	宿泊地
7月22日(火)	東京港	東京総支部・東京支部	静岡市
7月23日(水)	清水港	東海総支部・清水支部	大阪市
7月24日(木)	大阪港	大阪総支部・大阪支部	北九州市
7月25日(金)	門司港	九州総支部・門司支部	

(3) 巡視対象

巡視の対象は、船内荷役作業、沿岸荷役作業、はしけ運送作業、いかだ運送作業、検 数・検量作業及び港湾運送関連作業とする。

(4) 巡視団の編成

巡視団長は、会長が任命する。

巡視団員は、各総支部長からおおむね2名の推薦を受け、協会本部が船内班、沿岸班 に編成する。

(5) 巡視団員の集合地

東京港湾福利厚生センター(東京都港区海岸 3 - 9 - 5) 電話 03-3452-6391 (本部連絡先 電話 03-3452-7201)

(6) 結団式・解団式

結団式:7月22日(火)東京港督励巡視に先立ち、前記(5)の場所で結団式を行う。

解団式:7月25日(金)門司港巡視結果の検討会議終了後、解団式を行う。

(7) 巡視の方法

督励巡視に関する各港共通の行事は、次のとおりとする。

- ① 港湾荷役作業現場の巡視計画の打合せ
- ② 港湾荷役作業現場の巡視
- ③ 港湾災防各総支部・支部の安全衛生活動状況の説明
- ④ 現地関係者と巡視団員・同行者との巡視結果の検討会議・講評
- ⑤ 厚生労働省・所轄労働局担当官による講評・指導

(8) 説明資料の作成

担当する総支部・支部において、督励巡視対象港における安全衛生活動状況等の説明 資料として、次のものを作成する。

- ① 労働災害の発生状況(令和6年1月~12月及び令和7年1月~6月)
- ② 安全衛生活動状況(令和6年1月~12月及び令和7年1月~6月)

(9) 墜落制止用器具の装着

法改正により、高さ 6.75 私を超える高所作業の場合、フルハーネス型の装着が義務づけられたことから、巡視の際、船内班については、フルハーネス型墜落制止用器具を装着して巡視する。

(10) 巡視結果の発表

巡視結果は、各港とも検討会議を経て、督励巡視結果発表会議において発表する。

検討会議の際、団員の意見についてパソコンを使用してまとめ、督励巡視結果発表会議では、プロジェクターを使用し、スクリーンに好事例や指摘箇所等の写真を投影して発表する。

⑴ 結果報告書

協会本部において、督励巡視状況を取りまとめて、「主要港督励巡視結果報告書」を 作成し、団長から会長に提出する。

2 令和7年度 主要港督励巡視 団員・同行者 名簿

No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名
1	団長	桝野 征通	富栄運輸㈱	代表取締役社長
2	小冷大	味戸 誠	三ツ輪運輸㈱	現業部 第一事業所長
3	北海道	関山 淳	N X 北旺運輸㈱	安全管理室長
4	東北	生田目 博文	小名浜海陸運送㈱	港運営業第一課長
5	口士海	糀谷 卓哉	富山港湾運送㈱	安全作業部安全課課長代理
6	日本海	皆川 修	日本通運㈱新潟支店	新潟東部物流課次長
7	工芸	篠塚 祐一	富士港運㈱鹿島事業部	原料船舶課長代理
8	千葉	理﨑 喬之	山九㈱鹿島支店	
9	古古	入澤 成孝	宇徳港運㈱	大井·有明事務所長
10	東京	里見 洋輔	㈱山九海陸京浜事業部	物流部東京·川崎物流作業課長
11		山口 淳平	㈱ホンマ	調査役
12	神奈川	藤岡 剛	JFE物流㈱	京浜安全健康室長
13		下條 浩文	日本通運㈱横浜国際輸送支店	次長/СЅR安全衛生専任者
14	古海	吉村 光司	名海運輸作業㈱	金城センター所長
15	東海	小林 裕司	伊勢湾倉庫㈱	総務管理課長
16		佐々野 貢則	富栄運輸㈱	管理部部長
17	大阪	船越崇	日本通運㈱大阪国際輸送支店	中央国際事業所長
18		間口 詠介	間口運輸㈱	次長
19	兵庫県	向田 卓郎	㈱上組神戸支店	現業部 船内作業所長
20	八	中島 俊明	日本通運㈱神戸国際輸送支店	係長
21	中国	新谷 優也	広島荷役㈱	執行役員/港湾部部長
22	中国	石浦 洋介	日本通運㈱広島支店	港運課長
23	四国	岩﨑 光平	高知港運㈱	係長
24	九州	大庭 毅士	㈱大分海陸	安全衛生管理室次長兼労務部次長
25	<i>J</i> 6711	中村 優介	㈱ジェネック	チーム長代理
26	沖縄	高那 真清	美崎運輸㈱	代表取締役社長
27		瀧ヶ平 仁		事務局長
28	同行字	前田 憲孝	港湾労災防止協会	業務部次長
29	同行者	市倉 健人	心污刀火例止励云	調査役
30		佐藤 祐輝		主任安全管理士

3 各港 発表者・書記

(1) 発表者

- ① 巡視開始時の指差唱和
- ② 巡視後の「巡視結果打合せ(班別)」の司会
- ③ 「巡視結果発表会議」における発表(プロジェクターを使用し、スクリーンに好事 例や指摘箇所等の写真を投影して説明)

(2) 書記

「巡視結果打合せ(班別)」における団員の意見の取りまとめ(PCを使用)

港	役割	船内班	沿岸班
東京港	発表者	大阪総支部 佐々野団員	神奈川総支部 下條団員
(7月22日)	書記	日本海総支部 糀谷団員	北海道総支部 関山団員
清水港	発表者	兵庫県総支部 向田団員	東京総支部 里見団員
(7月23日)	書記	千葉総支部 理﨑団員	九州総支部 中村団員
大阪港	発表者	東北総支部 生田目団員	東海総支部 小林団員
(7月24日)	書記	神奈川総支部 山口団員	四国総支部 岩﨑団員
門司港	発表者	日本海総支部 皆川団員	東京総支部 入澤団員
(7月25日)	書記	中国総支部 新谷団員	兵庫県総支部 中島団員

4 各港 班別名簿

東京港 7月22日(火)

● 船内班

No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	桝野 征通	富栄運輸㈱	代表取締役社長	
2	北海道	味戸 誠	三ツ輪運輸㈱	現業部 第一事業所 所長	Α
3	東北	生田目 博文	小名浜海陸運送㈱	港運営業第一課長	В
4	日本海	糀谷 卓哉	富山港湾運送㈱	安全作業部 安全課 課長代理	書記
5	千葉	篠塚 祐一	富士港運㈱鹿島事業部	原料船舶課 課長代理	С
6	東京	入澤 成孝	宇徳港運㈱	大井·有明事務所長	D
7	神奈川	山口 淳平	㈱ホンマ	調査役	Е
8	東海	吉村 光司	名海運輸作業(株)	金城センター 所長	G
9	大阪	佐々野 貢則	富栄運輸㈱	管理部 部長	発表
10	兵庫県	向田 卓郎	㈱上組神戸支店	現業部 船内作業所 所長	F
11	中国	石浦 洋介	日本通運㈱広島支店	港運課長	D
12	四国	岩﨑 光平	高知港運㈱	係長	В
13	九州	中村 優介	㈱ジェネック	チーム長代理	С
14		瀧ヶ平 仁	港湾労災防止協会	事務局長	
15	同行	市倉 健人	港湾労災防止協会	調査役	写真
16		安井 省侍郎	厚生労働省労働基準局	安全衛生部長	
17	立宏	川崎 満莉菜	厚生労働省労働基準局	安全衛生部安全課係員	
18	来賓	三浦 玲	東京労働局労働基準部	安全課長	
19		金内步	三田労働基準監督署	安全衛生課長	

総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
副団長	間口 詠介	間口運輸㈱	次長	
北海道	関山 淳	N X 北旺運輸㈱	安全管理室 室長	書記
日本海	皆川 修	日本通運㈱新潟支店	新潟東部物流課 次長	Α
千葉	理﨑 喬之	山九㈱鹿島支店		В
東京	里見 洋輔	㈱山九海陸京浜事業部	物流部 東京·川崎物流作業課 課長	С
地大川	藤岡 剛	JFE物流㈱	京浜安全健康室 室長	D
仲宗川	下條 浩文	日本通運㈱横浜国際輸送支店	次長 CSR安全衛生専任者	発表
東海	小林 裕司	伊勢湾倉庫㈱	総務管理課 課長	Е
大阪	船越 崇	日本通運㈱大阪国際輸送支店	中央国際事業所 所長	G
兵庫県	中島 俊明	日本通運㈱神戸国際輸送支店	係長	F
中国	新谷 優也	広島荷役㈱	執行役員 港湾部部長	Α
九州	大庭 毅士	㈱大分海陸	安全衛生管理室次長 兼 労務部次長	В
沖縄	高那 真清	美崎運輸㈱	代表取締役社長	С
	前田 憲孝	港湾労災防止協会	業務部次長	写真
回行	佐藤 祐輝	港湾労災防止協会	主任安全管理士	
	吉岡 健一	厚生労働省労働基準局	安全衛生部安全課副主任中央産業安全専門官	
立宏	立石 光	厚生労働省労働基準局	安全衛生部安全課係長	
米貧	猪俣 あすか	東京労働局労働基準部	安全課労働基準監督官	
	田中 宏治	三田労働基準監督署	署長	
	副出日千東 神 東大兵中九	副団長間口北海道関山京理見東理見下上東上下上上上 <td>副団長 間口 詠介 間口運輸㈱ 北海道 関山 淳 N X 北旺運輸㈱ 日本海 皆川 修 日本通運㈱新潟支店 千葉 理﨑 喬之 山九㈱鹿島支店 東京 里見 洋輔 ㈱山九海陸京浜事業部 神奈川 下條 浩文 日本通運㈱横浜国際輸送支店 東海 小林 裕司 伊勢湾倉庫㈱ 大阪 船越 崇 日本通運㈱大阪国際輸送支店 兵庫県 中島 俊明 日本通運㈱神戸国際輸送支店 中国 新谷 優也 広島荷役㈱ 九州 大庭 毅士 ㈱大分海陸 沖縄 高那 真清 美崎運輸㈱ 市田 憲孝 港湾労災防止協会 佐藤 祐輝 港湾労災防止協会 吉岡 健一 厚生労働省労働基準局 な石 光 厚生労働省労働基準局 猪俣 あすか 東京労働局労働基準部</td> <td>副団長 間口 詠介 間口運輸㈱ 次長 北海道 関山 淳 N X 北旺運輸㈱ 安全管理室室長 日本海 皆川 修 日本通運㈱新潟支店 新潟東部物流課 次長 千葉 理崎 喬之 山九㈱鹿島支店 東京 里見 洋輔 ㈱山九海陸京浜事業部 物流部東京・川崎物流作業課 課長 神奈川 藤岡 剛 J F E 物流㈱ 京浜安全健康室室長 下條 浩文 日本通運㈱横浜国際輸送支店 次長 C S R 安全衛生専任者 東海 小林 裕司 伊勢湾倉庫㈱ 総務管理課 課長 大阪 船越 崇 日本通運㈱大阪国際輸送支店 中央国際事業所所長 兵庫県 中島 俊明 日本通運㈱木原国際輸送支店 係長 中国 新谷 優也 広島荷役㈱ 執行役員 港湾部部長 九州 大庭 毅士 ㈱大分海陸 安全衛生管理室次長 兼 労務部次長 沖縄 高那 真清 美崎運輸㈱ 代表取締役社長 市田 憲孝 港湾労災防止協会 主任安全管理士 市岡 健一 厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課副主任中央産業安全専門官 立石 光 厚生労働省労働基準部 安全衛生部安全課の基督 第保 あすか 東京労働局労働基準部 安全第労働基準監督官</td>	副団長 間口 詠介 間口運輸㈱ 北海道 関山 淳 N X 北旺運輸㈱ 日本海 皆川 修 日本通運㈱新潟支店 千葉 理﨑 喬之 山九㈱鹿島支店 東京 里見 洋輔 ㈱山九海陸京浜事業部 神奈川 下條 浩文 日本通運㈱横浜国際輸送支店 東海 小林 裕司 伊勢湾倉庫㈱ 大阪 船越 崇 日本通運㈱大阪国際輸送支店 兵庫県 中島 俊明 日本通運㈱神戸国際輸送支店 中国 新谷 優也 広島荷役㈱ 九州 大庭 毅士 ㈱大分海陸 沖縄 高那 真清 美崎運輸㈱ 市田 憲孝 港湾労災防止協会 佐藤 祐輝 港湾労災防止協会 吉岡 健一 厚生労働省労働基準局 な石 光 厚生労働省労働基準局 猪俣 あすか 東京労働局労働基準部	副団長 間口 詠介 間口運輸㈱ 次長 北海道 関山 淳 N X 北旺運輸㈱ 安全管理室室長 日本海 皆川 修 日本通運㈱新潟支店 新潟東部物流課 次長 千葉 理崎 喬之 山九㈱鹿島支店 東京 里見 洋輔 ㈱山九海陸京浜事業部 物流部東京・川崎物流作業課 課長 神奈川 藤岡 剛 J F E 物流㈱ 京浜安全健康室室長 下條 浩文 日本通運㈱横浜国際輸送支店 次長 C S R 安全衛生専任者 東海 小林 裕司 伊勢湾倉庫㈱ 総務管理課 課長 大阪 船越 崇 日本通運㈱大阪国際輸送支店 中央国際事業所所長 兵庫県 中島 俊明 日本通運㈱木原国際輸送支店 係長 中国 新谷 優也 広島荷役㈱ 執行役員 港湾部部長 九州 大庭 毅士 ㈱大分海陸 安全衛生管理室次長 兼 労務部次長 沖縄 高那 真清 美崎運輸㈱ 代表取締役社長 市田 憲孝 港湾労災防止協会 主任安全管理士 市岡 健一 厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課副主任中央産業安全専門官 立石 光 厚生労働省労働基準部 安全衛生部安全課の基督 第保 あすか 東京労働局労働基準部 安全第労働基準監督官

清水港 7月23日(水)

● 船内班

No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	桝野 征通	富栄運輸㈱	代表取締役社長	
2	北海道	関山 淳	NX北旺運輸㈱	安全管理室 室長	Α
3	東北	生田目 博文	小名浜海陸運送㈱	港運営業第一課長	С
4	日本海	皆川 修	日本通運㈱新潟支店	新潟東部物流課 次長	В
5	千葉	理﨑 喬之	山九㈱鹿島支店		書記
6	神奈川	藤岡剛	J F E 物流㈱	京浜安全健康室 室長	Е
7	東海	吉村 光司	名海運輸作業㈱	金城センター 所長	D
8	大阪	佐々野 貢則	富栄運輸㈱	管理部 部長	F
9	兵庫県	向田 卓郎	㈱上組神戸支店	現業部 船内作業所 所長	発表
10	中国	新谷 優也	広島荷役㈱	執行役員 港湾部部長	G
	丁圖	村谷 後巴			
11	四国	岩﨑 光平	高知港運㈱	係長	Α
11 12			高知港運㈱ ㈱大分海陸	係長 安全衛生管理室次長 兼 労務部次長	A D
	四国	岩﨑 光平			
12	四国 九州 沖縄	岩﨑 光平大庭 毅士	㈱大分海陸	安全衛生管理室次長 兼 労務部次長	D
12 13	四国九州	岩﨑 光平 大庭 毅士 高那 真清	(株)大分海陸 美崎運輸(株)	安全衛生管理室次長 兼 労務部次長 代表取締役社長	D B
12 13 14	四国 九州 沖縄	岩崎 光平 大庭 毅士 高那 真清 前田 憲孝	(株)大分海陸 美崎運輸(株) 港湾労災防止協会	安全衛生管理室次長 兼 労務部次長 代表取締役社長 業務部次長	D B

	● 冶序班						
No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割		
1	副団長	間口 詠介	間口運輸㈱	次長			
2	北海道	味戸 誠	三ッ輪運輸㈱	現業部 第一事業所 所長	G		
3	日本海	糀谷 卓哉	富山港湾運送㈱	安全作業部 安全課 課長代理	Α		
4	千葉	篠塚 祐一	富士港運㈱鹿島事業部	原料船舶課 課長代理	В		
5	**	入澤 成孝	宇徳港運㈱	大井·有明事務所長	С		
6	東京	里見 洋輔	㈱山九海陸京浜事業部	物流部 東京·川崎物流作業課 課長	発表		
7	\	山口 淳平	(株)ホンマ	調査役	G		
8	神奈川	下條 浩文	日本通運㈱横浜国際輸送支店	次長 CSR安全衛生専任者	Е		
9	東海	小林 裕司	伊勢湾倉庫㈱	総務管理課 課長	D		
10	大阪	船越 崇	日本通運㈱大阪国際輸送支店	中央国際事業所 所長	F		
11	兵庫県	中島 俊明	日本通運㈱神戸国際輸送支店	係長	В		
12	中国	石浦 洋介	日本通運㈱広島支店	港運課長	Α		
13	九州	中村 優介	㈱ジェネック	チーム長代理	書記		
14	□ /-	瀧ヶ平 仁	港湾労災防止協会	事務局長			
15	同行	市倉 健人	港湾労災防止協会	調査役	写真		
16	立 家	横山 仁之	静岡労働基準監督署	署長			
17	来賓	鈴木 康平	静岡労働局	研修生			

大阪港 7月24日(木)

● 船内班

				-	
No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	桝野 征通	富栄運輸㈱	代表取締役社長	
2	北海道	味戸 誠	三ッ輪運輸㈱	現業部 第一事業所 所長	В
3	東北	生田目 博文	小名浜海陸運送㈱	港運営業第一課長	発表
4	日本海	糀谷 卓哉	富山港湾運送㈱	安全作業部 安全課 課長代理	С
5	千葉	篠塚 祐一	富士港運㈱鹿島事業部	原料船舶課 課長代理	D
6	東京	入澤 成孝	宇徳港運㈱	大井·有明事務所長	Е
7	神奈川	山口 淳平	(株)ホンマ	調査役	書記
8	東海	吉村 光司	名海運輸作業㈱	金城センター 所長	F
9	大阪	佐々野 貢則	富栄運輸㈱	管理部 部長	G
10	兵庫県	向田 卓郎	㈱上組神戸支店	現業部 船内作業所 所長	Α
11	中国	石浦 洋介	日本通運㈱広島支店	港運課長	С
12	九州	中村 優介	㈱ジェネック	チーム長代理	В
13	= %=	市倉 健人	港湾労災防止協会	調査役	写真
14	同行	佐藤 祐輝	港湾労災防止協会	主任安全管理士	
15		三輪 和生	大阪労働局労働基準部	安全課長	
16	立宏	佐保 大介	大阪労働局労働基準部	安全課産業安全専門官	
17	来賓	後谷 元基	大阪労働局職業安定部	職業対策課雇用促進係長	
18		八又 保	大阪港労働公共職業安定所	所長	

	沿岸切	I			
No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	副団長	間口 詠介	間口運輸㈱	次長	
2	北海道	関山 淳	N X 北旺運輸㈱	安全管理室 室長	С
3	日本海	皆川 修	日本通運㈱新潟支店	新潟東部物流課 次長	D
4	千葉	理﨑 喬之	山九㈱鹿島支店		Е
5	東京	里見 洋輔	㈱山九海陸京浜事業部	物流部 東京・川崎物流作業課 課長	F
6	地大川	藤岡剛	J F E物流㈱	京浜安全健康室 室長	G
7	神奈川	下條 浩文	日本通運㈱横浜国際輸送支店	次長 CSR安全衛生専任者	Α
8	東海	小林 裕司	伊勢湾倉庫㈱	総務管理課 課長	発表
9	大阪	船越 崇	日本通運㈱大阪国際輸送支店	中央国際事業所 所長	В
10	兵庫県	中島 俊明	日本通運㈱神戸国際輸送支店	係長	С
11	中国	新谷 優也	広島荷役㈱	執行役員 港湾部部長	D
12	四国	岩﨑 光平	高知港運㈱	係長	書記
13	九州	大庭 毅士	㈱大分海陸	安全衛生管理室次長 兼 労務部次長	Е
14	沖縄	高那 真清	美崎運輸㈱	代表取締役社長	F
15	= 3=	瀧ヶ平 仁	港湾労災防止協会	事務局長	
16	同行	前田 憲孝	港湾労災防止協会	業務部次長	写真
17		嘉副 崇夫	大阪労働局労働基準部	監督課長	
18	来賓	山口 浩光	大阪労働局労働基準部	健康課長	
19		林 裕之	大阪港労働公共職業安定所	港湾労働課長	

門司港 7月25日(金)

● 船内班

No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	団長	桝野 征通	富栄運輸㈱	代表取締役社長	
2	北海道	関山 淳	NX北旺運輸㈱	安全管理室 室長	G
3	東北	生田目 博文	小名浜海陸運送㈱	港運営業第一課長	F
4	日本海	皆川 修	日本通運㈱新潟支店	新潟東部物流課 次長	発表
5	千葉	理﨑 喬之	山九㈱鹿島支店		D
6	神奈川	藤岡剛	J F E 物流㈱	京浜安全健康室 室長	С
7	東海	吉村 光司	名海運輸作業㈱	金城センター 所長	В
8	大阪	佐々野 貢則	富栄運輸㈱	管理部 部長	Α
9	兵庫県	向田 卓郎	㈱上組神戸支店	現業部 船内作業所 所長	В
10	中国	新谷 優也	広島荷役㈱	執行役員 港湾部部長	書記
11	九州	大庭 毅士	㈱大分海陸	安全衛生管理室次長 兼 労務部次長	С
12	沖縄	高那 真清	美崎運輸㈱	代表取締役社長	Е
13	同行	瀧ヶ平 仁	港湾労災防止協会	事務局長	
14	ר 1רחו	前田 憲孝	港湾労災防止協会	業務部次長	写真
15		千葉 登志雄	福岡労働局	局長	
16	来賓	川辺 博之	福岡労働局労働基準部	部長	
17	不貝	石橋 淳一	福岡労働局労働基準部	安全課長	
18		髙田 俊宏	九州運輸局海事振興部	港運課長	

	●治洋班				
No.	総支部	氏 名	所属事業場	所属・役職名	役割
1	副団長	間口 詠介	間口運輸㈱	次長	
2	北海道	味戸 誠	三ッ輪運輸㈱	現業部 第一事業所 所長	F
3	日本海	糀谷 卓哉	富山港湾運送㈱	安全作業部 安全課 課長代理	G
4	千葉	篠塚 祐一	富士港運㈱鹿島事業部	原料船舶課 課長代理	Е
5	東京	入澤 成孝	宇徳港運㈱	大井·有明事務所長	発表
6	東京	里見 洋輔	㈱山九海陸京浜事業部	物流部 東京·川崎物流作業課 課長	D
7	かたロ	山口 淳平	(株)ホンマ	調査役	С
8	神奈川	下條 浩文	日本通運㈱横浜国際輸送支店	次長 CSR安全衛生専任者	В
9	東海	小林 裕司	伊勢湾倉庫㈱	総務管理課 課長	Α
10	大阪	船越 崇	日本通運㈱大阪国際輸送支店	中央国際事業所 所長	Α
11	兵庫県	中島 俊明	日本通運㈱神戸国際輸送支店	係長	書記
12	中国	石浦 洋介	日本通運㈱広島支店	港運課長	В
13	四国	岩﨑 光平	高知港運㈱	係長	С
14	九州	中村 優介	(株)ジェネック	チーム長代理	D
15	同仁	市倉 健人	港湾労災防止協会	調査役	写真
16	同行	佐藤 祐輝	港湾労災防止協会	主任安全管理士	
17		岡田 悦徳	福岡労働局労働基準部	安全課長補佐	
18	来賓	若松 千詠	北九州東労働基準監督署	門司支署長	
19		中神 貴好	北九州東労働基準監督署	産業安全専門官	

5 重点点検項目

- (1) 班ごとに巡視に先立ち、下記に示された重点点検事項を了知し、これに沿って巡視する。
 - ① 指差呼称の実施状況
 - ② 管理体制
 - a 作業計画の作成状況
 - b 船内作業主任者、沿岸主任者の選任状況
 - c 作業主任者等の職務遂行状況
 - ③ 揚貨装置、クレーン及び車両系荷役運搬機械(フォークリフト、ショベルローダー、 フォークローダー、ストラドルキャリヤー、構内運搬車、貨物自動車)等の作業
 - a 運転資格の確認、運転・運行状況
 - b 通行区分帯への立入禁止・退避状況
 - c 玉掛け用具の確認、合図・玉掛け状況
 - ④ 荷役作業、倉庫内等の作業
 - a 墜落・転落、物の落下、荷の崩壊、挟まれ、巻き込まれ等の危険状況の確認及び 安全対策の実施状況
 - b 通路、昇降等の設備状況、安全対策の実施状況
 - ⑤ 災害防止のための工夫改善事例
- (2) 重点点検事項の確認に当たっては、別添「チェックリスト」を活用する。
- (3) 巡視後は、班ごとに発表者が中心となり班員から点検結果を聴取し、これを取りまとめ、巡視結果発表等会議において発表する。

主要港督励巡視チェックリスト(船内荷役作業用)

令和7年7月 日 団員氏名

港	

凹貝以石 				
	占 ′ 口		船名	
	点検項目			
— 般 A	・安全標識、安全旗等の掲揚はされているか ・作業にあった服装か。 ・保護帽を着用し、顎紐を締めているか ・履物は作業に適しているか ・指差呼称を実施しているか ・熱中症対策は実施されているか			
管理体制 B	・作業計画は定められているか ・船内荷役(酸欠)作業主任者は配置されているか ・船内荷役作業主任者は、作業箇所をあらかじめ点検し、 直接作業の指揮を行っているか ・船内荷役(酸欠)作業主任者は腕章等をつけているか			
本船関係	・舷門表示は良いか。KYボードは活用されているか ・船内通行設備は安全に確保されているか ・甲板上や船内の整理整頓は良好か ・立入禁止の設定と遵守はされているか ・墜落防止措置はとられているか ・荷崩れ等のおそれはないか			
揚貨装置 ・クレー ン・荷役 機械等 D	・クレーンの検査証は備えられているか ・点検・自主検査はされているか ・運転士は有資格者か。免許証を携帯しているか ・地切り時の一時停止、確認はされているか ・荷役機械の作業計画は定められているか ・作業者へ計画の周知はされているか			
合図 E	・合図者は指名されているか・合図者と運転士の連絡はよいか・合図者の位置はよいか・合図の方法は適確か			
玉掛け等 F	・玉掛け作業者は技能講習を受けているか 修了証を携帯しているか ・損傷した玉掛け用具を使用していないか ・つり具は適切か。つり荷は制限荷重以内か ・つり荷の状態はどうか。玉掛け方法は適切か ・荷が作業者の頭上を通っていないか。作業員の退避はよいか			
工夫改善事例 G		_		
備考				

主要港督励巡視チェックリスト(沿岸荷役作業用)

令和7年7月 日 団員氏名

. 1	
`/-	→
70	=

	点検項目	事業場	8名(上月	屋名)
— 般 A	・安全標識、安全旗等の掲揚はされているか ・作業にあった服装か ・保護帽を着用し、顎紐を締めているか ・履物は作業に適しているか ・指差呼称は実施されているか、KYボードの活用状況はどうか ・熱中症対策は実施されているか			
管理体制 B	・沿岸荷役作業の作業計画は作成されているか ・沿岸荷役主任者は選任されているか ・沿岸荷役主任者は、作業箇所をあらかじめ点検し、直接作 業の指揮を行っているか ・沿岸荷役主任者及び作業主任者は腕章・表示をつけているか			
作業環境	・作業現場の整理整頓は良好か ・作業現場・仮置場の通路等の整理は良いか ・はい崩れのおそれはないか ・各種表示は適切か			
クレーン ・荷役機 械等 D	・クレーンの検査証は備えられているか ・点検・自主検査はされているか ・運転士は有資格者か。免許証を携帯しているか ・地切り時の一時停止、確認はされているか ・荷役機械の作業計画は定められているか ・作業者へ計画の周知はされているか ・立入禁止区域の設定と遵守はされているか ・アウトリガー・過巻防止装置・ワイヤ等は適切か ・損傷品、不良品の使用はないか ・危険な使用方法、過負荷等で荷扱いをしていないか ・急発進・急旋回・急停止はないか ・意切な走行スピードが守られているか ・警報機・方向指示器・表示灯の保守点検はなされているか			
合図 E	・合図者は指名されているか ・合図者と運転士の連絡はよいか ・合図者の位置はよいか ・合図の方法は適確か			
玉掛け等	・玉掛け作業者は技能講習を受けているか、修了証を携帯しているか ・損傷した玉掛け用具を使用していないか ・つり具は適切か。つり荷は制限荷重以内か ・つり荷の状態はどうか。玉掛け方法は適切か ・荷が作業者の頭上を通っていないか。作業員の退避はよいか			
工夫改善事例 G				
備考				

結果発表用紙

令和7年7月 日 (船内班・沿岸班) 団員氏名 港

良 か っ た 点 指 摘 事 項 及 び 改 善 事 項 質 問 事 項

Ⅱ 結団式(7月22日(火))

1 概要

「結団式」は、午前9時30分から、東京港湾福利厚生センター(東京都港区)8階会議室において、厚生労働省労働基準局安井安全衛生部長、東京労働局増田局長、関東運輸局 富澤海事振興部長、三田労働基準監督署田中署長、東京都港湾局港湾経営部浅田経営課長、東京港湾関係事業者等多数の行政関係者等の代表者を来賓に迎え、東京総支部及び神奈川総支部の関係者を加えた計114名の参加のもと挙行された。

出席者全員で黙祷後、藤木会長の挨拶があり、引き続いて大阪総支部の桝野征通氏が団 長に委嘱され、下記のとおり進行した。

最後に、東京総支部駐在 村田安全管理員の発声に続いて、出席者全員で「全員参加で 指差呼称 ヨシ!」「ゼロ災で行こう ヨシ!」と声高らかに指差唱和をして、「結団式」 を終了した。

記

(1) 会長挨拶 会長挨拶のとおり

(2) 団長委嘱状交付

(3) 団長挨拶 団長挨拶のとおり

(4) 団員紹介 前記名簿のとおり

(5) 来賓挨拶

厚生労働省 労働基準局 安井安全衛生部長東京労働局 増田局長

(6) 来賓紹介

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 吉岡副主任中央産業安全専門官

立石係長

川崎係員

関東運輸局 冨澤海事振興部長

海事振興部 秋田港運課長

東京労働局 労働基準部 三浦安全課長

猪俣監督官

三田労働基準監督署 田中署長

金内安全衛生課長

東京都港湾局 港湾経営部 浅田経営課長

(7) 協会関係者紹介

藤木副会長 井上専務理事 笹田業務委員長 東京総支部 城田総支部長 東京総支部 髙木副総支部長 東京総支部 坂手総務委員長 川崎支部 三田支部長 横浜支部 花島副支部長

2 会長挨拶

「令和7年度 主要港督励巡視」結団式に当たり、一言、 ご挨拶申し上げます。

本日、ご来賓の皆様方には、公務ご多用の中、団員の 激励のため、ご出席をいただき、厚く御礼を申し上げま す。

当協会の労働災害防止活動は、関係行政機関のご指導と、会員各位のたゆまざるご努力により、年々着実な成果を挙げているところであり、皆様方に深く感謝申し上げる次第であります。



本年度、主要港督励巡視は節目となる 61 回目を迎えましたが、ここ東京港をスタートして、全部で4港で巡視をしていただきます。

昨年度の主要港督励巡視以降、港湾荷役の現場で3名の方が亡くなっています。

このような死亡災害はあってはならないことであり、そのための安全活動を日々行って おり、この主要港督巡視も災害防止活動として行うものです。

この暑い時期に、全国から集まられた団員の皆さんが巡視をされ、効果的な督励を行う ことにより、それぞれの港が、一層安全な港となることを期待しております。

港それぞれに様々な課題と向き合っていると思いますので、港の現場をよくご覧になって、しっかりと督励し、交流を図ってもらいたいと思います。

特に猛暑の中での巡視となることから、熱中症には十分気を付けていただきたい。少しでも体調がおかしいと感じたときは遠慮することなく「今日の巡視は休ませてほしい」と申し出ていただくようお願いします。

また、巡視をされるどの港でも、安全に作業を遂行するため、いろいろな工夫や改善が行われていると思います。各港で取り組まれている工夫事例は学んで自分の港に持ち帰って取り入れるなど、活かすようにしていただきたい。

私の後ろの席で昨年度まで団長を務めた笹田さんが座っていますが、今年度の団長には、大阪総支部の桝野さんにお願いすることになります。

また、団員の他に、それぞれの港では、地元の労働局や労働基準監督署の方々に、ご参加いただくことになっております。

団員の皆様は、日頃、各港の労働災害防止活動において指導的な立場で活躍されておられる経験豊富な方々ばかりでございますので、主要港督励巡視の成果をお持ち帰りいただき、地元の港における労働災害防止活動が更なる発展をされることを大いに期待いたします。

団員各位には大変暑い中、ご苦労をおかけしますが、健康に留意され、とりわけ熱中症には十分注意していただきまして、無事に督励巡視の成果を挙げられますようお願いして、ご挨拶といたします。

3 団長挨拶

只今、藤木会長から「令和7年度 主要港督励巡視団」団長 を仰せつかりました大阪総支部の桝野でございます。

本日は、早朝より、厚生労働省労働基準局安全衛生部長 安 井様、東京労働局長 増田様、国土交通省関東運輸局海事振興 部長 冨澤様、三田労働基準監督署長 田中様、東京都港湾局港 湾経営部経営課長 浅田様を始め、関係官庁並びに関係機関の 皆様方には、ご多用の中、私共、督励巡視団の激励のためにご 臨席をたまわり、誠にありがとうございます。



また、東京総支部の城田総支部長を始め、会員店社からも多数のご出席をいただき、誠にありがとうございます。

主要港督励巡視は、これまで、わが国の港の労働災害の防止に大きく寄与してまいりました。

その団長を仰せつかり、責任の重さを改めて痛感しているところでありますが、これまで、港の諸先輩の方々が築き上げられてきた素晴らしい伝統を継承するとともに、港湾荷役作業の変化に対応して、安全衛生水準の一層の向上を図り、港から災害をなくすことに貢献することが、私達の任務であります。

この場に集った団員は、各港において永年にわたって労働災害防止活動に精励され、優れた実績を上げておられる方々ばかりであり、大変、心強く思っています。

大変暑い中での主要港督励巡視になりますが、今日から4日間、団員一同、健康に留意しながら、行って参ります。

督励巡視に当たり、厚生労働省、各地元労働局や労働基準監督署のご指導の下、団員の ご協力を得まして、各港における労働災害防止活動を視察させていただき、藤木会長を始 め、皆様方のご期待に添うよう団長としての務めを果たしてまいりたいと考えております ので、改めまして、ご支援をよろしくお願いいたします。

なお、一昨年度まで、船内班、沿岸班問わず全団員が墜落制止用器具を装着して巡視を しておりましたが、熱中症のリスクを考慮した結果、前年度に引き続き、船内班のみ墜落 制止用器具を装着して巡視することといたしました。

ご同行される行政機関の方々にも、ご理解いただければ、幸いでございます。

以上、結団式に当たりましてのご挨拶といたします。

本日はありがとうございます。

- 結団式 -





藤木会長から「委嘱状」を受け取る桝野団長



挨拶をされる厚生労働省安井安全衛生部長



挨拶をされる東京労働局増田局長



東京総支部駐在村田安全管理員の発声による指差唱和

Ⅲ 巡視結果

1 東京港

7月22日(火) 晴れ 31.4℃

(1) 概要

「結団式」終了後、船内班、沿岸班に分かれて巡視に出発した。

厚生労働省 安井安全衛生部長・吉岡副主任中央産業安全専門官、東京労働局 三浦安全課長、三田労働基準監督署 田中署長他の行政関係者も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後、東京港湾福利厚生センターに戻り、「巡視結果打合せ(班別)」を経て、「巡視結果発表会議」が開かれた。会議では、東京総支部 城田総支部長の挨拶に続き、東京総支部 濱西事務局主管者による東京港の安全衛生活動状況について説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された厚生労働省 吉岡副主任中央産業安全専門官から講評指導が行われ、桝野団長の総括とお礼の挨拶、東京総支部 髙木副総支部長、協会本部 瀧ヶ平事務局長の挨拶により東京港の巡視を終了した。

(2) 巡視結果

① 船内班

場所: Y1・Y2 ターミナル

本船:なし(入港遅延のため)

作業:なし



現場全景



巡視する団員

● 良かった点

ア 現場の55

- 飛来してきたゴミを作業者がすぐに拾い、エプロンに他にはゴミーつないなど、55が徹底されていたこと。
- 炎天下にあっても作業者の服装や装備に乱れがなかったこと。

イ 熱中症予防

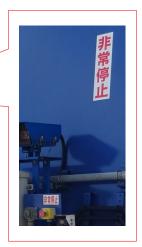
○ 午前と午後にそれぞれクーリングタイムを設定していたこと。

ウ きめ細かな安全対策

- 気象状況に適応した作業の安全対策を定めていたこと。
- ガントリークレーン脚部に注意喚起表示を見やすくしていたこと。







ガントリークレーン脚部の大きな表示

エ 合図・誘導

○ コンテナ積載トレーラーの誘導員を配置し、かつ、合図により適切に誘導して いたこと。

② 指摘事項及び改善事項

なし

6 質問事項

なし

② 沿岸班

場所:大井海貨上屋1号棟

作業:倉庫内荷役

● 良かった点

ア 熱中症予防

- WBGT計測器が必要箇所に適切に設置されていたこと。
- ウォータークーラー、作業員用冷蔵庫が作業者の利用しやすい位置に設置されていたこと。



WBGT計測器



ウォータークーラー

- 必要数のスポットクーラーが作業場所に設置されていたこと。
- 熱中症発生時の緊急搬送先・連絡先等がフロー図により周知されていたこと。



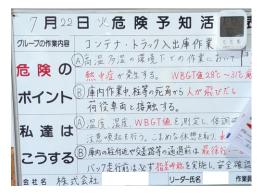
救急処置フロー図



同左

イ 危険予知

○ KYボードに、重点が一目でわかるようキーワードが朱書されていたこと。



KY ボードへのキーワード朱書き

ウ フォークリフト災害防止

- リフトマンが指差呼称を確実に行っていたこと。
- 誘導員が配置され、かつ、大きな声で適切に誘導していたこと。
- プッシュプルアタッチメントに LED ライトを取り付け、運転位置からの視認性を高めていたこと。





後付けのLEDライト

② 指摘事項及び改善事項

なし

6 質問事項 (→ 回答)

フォークリフトの動線上にソファが置かれていたが、用途・使用状況は?

→ フォークリフトが稼働していないときのリフトマンの休憩用に設置している。 なお、リフト稼働時に使用しないよう、引き続き、安全には留意していく。

- 督励巡視結果発表会議 -





開会挨拶をされる東京総支部城田総支部長



船内班発表の模様



沿岸班発表の模様



閉会挨拶をされる東京総支部髙木副総支部長

2 清水港

7月23日(水) 晴れ 31.3℃

(1) 概要

「開会式」は、午前9時10分から、清水テルサ7階研修室において、66名の参加を得て開催された。

冒頭、東海総支部 小山総支部長、桝野団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、静岡労働 局 國分局長及び中部運輸局静岡運輸支局 大久保次長の来賓挨拶、その後、来賓、清水支部の代表者の方々の紹介の後、鈴与株式会社 木下統括作業長の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ!」の指差唱和を行い、清水港の巡視に出発した。

静岡労働局 國分局長・皆野川健康安全課長、静岡労働基準監督署 横山署長他の行政関係者も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の「巡視結果発表会議」では、清水支部 上野事務局主管者から清水港における 安全衛生活動状況の説明について説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。 発表討議後、巡視に同行された静岡労働局 皆野川健康安全課長及び静岡労働基準監督署 横山署長から講評指導が行われ、桝野団長の総括とお礼の挨拶、最後に、清水支部 柳川 支部長の挨拶があり、清水港における督励巡視を終了した。

(2) 巡視結果

1 船内班

場所:新興津埠頭第二バース

本船: CONFIDENCE (ONE)

作業:コンテナ揚げ荷役



巡視する団員



船内の足回りを確認する団員

● 良かった点

ア 熱中症予防

- ガントリークレーンの足元に、可動式の日除け及びファンを設置していたこと。
- 熱中症対策キットを岸壁の車両に備え付けていたこと。
- 熱中症発生時の受診先をカードにして、作業者個人ごとに携帯させていたこと。







可動式の日除け(黄色枠内)

ファン

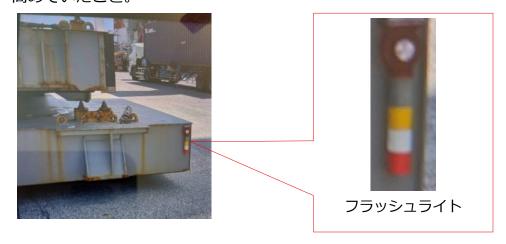
熱中症受診先カード

イ合図

○ 地上作業者がクレーンオペと札(○と×)により、明確に意思疎通を行っていたこと。

ウ 夜間作業の安全確保

ハッチカバーの縁にフラッシュライトを後付けし、夜間作業における視認性を 高めていたこと。



② 指摘事項及び改善事項

なし

6 質問事項

なし

② 沿岸班

場所:袖師連合上屋(4店社)

作業:倉庫内荷役

① 良かった点

ア 熱中症予防

- QR コードを活用して、温湿度を記録管理していたこと。
- スポットクーラー、熱中症対策キットを適切に配置していたこと。
- ネッククーラーを作業者に配布していたこと。







QR コードによる記録

スポットクーラー

ネッククーラー

イ フォークリフト災害防止

- リフトマンが大きな声で指差呼称を確実に行っていたこと。
- 誘導員が配置され、適切に誘導していたこと。

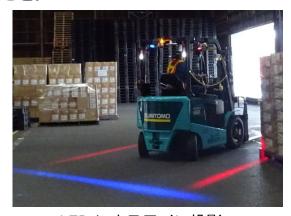


大きな声での指差呼称



誘導員による誘導

○ LED ライトによるラインが後方のみならず左右にも投影され、作業者との接触防止を図っていたこと。



LED によるライン投影

○ バックレストにカメラを設置し、高所での荷取り時などに、運転席モニター でフォーク先の状況を視認できるようにしていたこと。



バックレストに設置したカメラによるフォーク先の視認性向上

- O 歩行帯、作業エリアの明確化により、歩車分離がしっかりされていたこと。 ウ その他
 - 非常時の避難に備えて、津波シェルターを配置していたこと。



② 指摘事項及び改善事項

なし

6 質問事項

なし

開 会 式



挨拶をされる東海総支部小山総支部長



挨拶をされる静岡労働局國分局長



挨拶をされる中部運輸局静岡運輸支局大久保次長



挨拶をされる桝野団長

督励巡視結果発表会議



船内班発表の模様



沿岸班発表の模様



講評をされる静岡労働基準監督署 横山署長



閉会挨拶をされる清水支部 柳川支部長

3 大阪港

7月24日(木) 晴れ 33.1℃

(1) 概要

「開会式」は、午前9時30分から、大阪港湾労働者福祉センター3階会議室において、 111名の参加を得て開催された。

冒頭、大阪総支部 間口総支部長、桝野団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、大阪労働局 高橋局長の来賓挨拶、その後、来賓の紹介の後、中谷運輸株式会社 原田部長の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ!」の指差唱和を行い、大阪港の巡視に出発した。 大阪労働局 嘉副監督課長・三輪安全課長・山口健康課長、大阪港労働公共職業安定所入又所長他の行政関係者も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の「巡視結果発表会議」では、大阪総支部駐在 宮内安全管理員から大阪港における安全衛生活動状況の説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された大阪労働局 三輪安全課長から講評指導が行われ、桝野団長の総括とお礼の挨拶、最後に、大阪総支部 髙橋副総支部長の挨拶があり、大阪港における督励巡視を終了した。

(2) 巡視結果

① 船内班

場所:大阪港(南港) L6 バース

本船: BUNUN MIRACLE

作業:鋼材(コイル)積み荷役

● 良かった点

ア 熱中症予防

- タープテントを設営、作業者全員に行き渡るクーラーボックス(熱中症疑い時の対応フロー図を貼付)を必要数配置していたこと。
- WBGT計測器を備え、午前・午後に各2回ずつ数値を測定・記録して(周知させて) いたこと。



岸壁に設営したタープテント





熱中症疑い時の対応フロー図を 貼付したクーラーボックス

イ 墜落・転落防止等

○ ホールドへの昇降時における墜落・転落防止のための可搬式スタンションを設置していたこと。







可搬式スタンション(自社製作品)

- 墜落・転落、転倒、切れこすれなどの危険のある個所にピンクリボンを付け、 注意喚起をしていたこと。
- ウ クレーン等災害防止
 - 資材リフティング時の合図、退避が確実に行われていたこと。
 - 風穴を開ける加工がされたコーンを活用し、立入禁止標示の転倒・移動等の防止を図っていたこと。



揚重作業時の合図・退避





風穴開け加工コーン

2 指摘事項及び改善事項

なし

❸ 質問事項

なし

② 沿岸班

場所:大阪港(南港) L1・L2・L3 バース

作業:倉庫内荷役

● 良かった点

ア 熱中症予防

- 熱中症発生時の具体的な対応フロー図を掲示等していたこと。
- 氷・飲料、応急処置キットなどを必要数配置していたこと。
- 作業者に空調服を支給し、着用させていたこと。



具体的対応フロー図掲示等

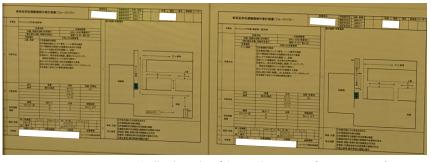




氷・飲料、応急処置キットなど

イ フォークリフト災害防止

- O リフトマンの合図が大きく明確になされており、走行速度も適正であったこと。
- の作業計画書が晴天用と雨天用に分けられ、現場に即した明確かつ適正なものとなっていたこと。
- 歩行帯や止まれ表示を床面にペイントし、作業者との接触防止を図っていたこと。







歩行帯等

ウ整理整頓

○ 収納時の写真を掲示することにより、資材置場等の整理整頓を抵抗感なく行う ことができるようアシストしていたこと。



収納時の写真掲示で整理整頓をアシスト

2 指摘事項及び改善事項

なし

❸ 質問事項

なし

- 開 会 式 -



挨拶をされる大阪総支部間口総支部長



挨拶をされる大阪労働局高橋局長



団員の紹介



原田部長の発声による指差唱和

- 督励巡視結果発表会議 –



船内班発表の模様



沿岸班発表の模様



講評をされる大阪労働局三輪安全課長



閉会挨拶をされる大阪総支部髙橋副総支部長

4 門司港

7月25日(金) 天気 晴れ 30.1℃

(1) 概要

「開会式」は、午前9時から、プレミアホテル門司港2階大会議室において、82名の参加を得て開催された。

冒頭、九州総支部 野畑総支部長、桝野団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、福岡労働 局 千葉局長の来賓挨拶、その後、来賓の紹介の後、門司支部 赤澤推進委員長の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ! 」の指差唱和を行い、門司港の巡視に出発した。

福岡労働局 千葉局長・川辺労働基準部長・石橋安全課長、北九州東労働基準監督署 若松門司支署長、九州運輸局海事振興部 髙田港運課長他の行政関係者も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の「巡視結果発表会議」では、関門港湾労働安全衛生委員会 近藤委員長から門司港における安全衛生活動状況の説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。 発表討議後、巡視に同行された福岡労働局 石橋安全課長から講評指導が行われ、桝野団長の総括とお礼の挨拶、最後に、門司支部 中島支部長の挨拶があり、門司港における督励巡視を終了した。

(2) 巡視結果

1 船内班

場所:太刀浦第1コンテナターミナル

本船: CONTESSA

作業:コンテナ揚げ荷役

① 良かった点

ア 熱中症予防

○ ガントリークレーンの足元に熱中症対策の掲示、WBGT計測器を備えて数値 を測定・記録して(周知させて)いたこと。 ○ エアコンの効いたプレハブ (熱中症対策待機室)を設営、冷蔵庫に飲料を備え、 熱中症疑い時の対応フロー図を掲出していたほか、タオルに噴射すると凍結する スプレーなども用意していたこと。



岸壁に設営した熱中症対策待機室(エアコン、冷蔵庫、熱中症疑い時の対応フロー図掲示)

イ 墜落・転落防止等

- 墜落・転落危険場所への立入禁止措置(開口部のチェーン)、ピクトグラムによる注意喚起表示などを適切に行っていたこと。
- タラップ足元に昇降台を設置し、段差のある箇所への対策を講じていたこと。 ウ クレーン等災害防止
 - クレーン作業時の退避場所をコーンで明示し、退避が確実に行われていたこと。



コーンによる退避場所の明示と確実な退避

ストラドルキャリヤーの走行速度や旋回などについて、安全運転が励行されていたこと。

② 指摘事項及び改善事項

なし

❸ 質問事項

なし

② 沿岸班

場所:太刀浦市営6号上屋(3店社)

太刀浦第2号サービスセンター(4店社)

作業:倉庫内荷役

● 良かった点

ア 熱中症予防

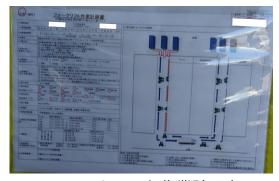
- 〇 冷却ファン、熱中症対策キット、熱中症対策掲示、WBGT計測器が要所要所 にあったこと。
- 〇 飲料自販機(無料)が設置してあり、作業者が利用できるようにしてあったこと。



飲料の無料自販機

イ フォークリフト災害防止

- 作業計画書を定常作業と臨時作業別に作成し、かつ、計画書どおりに作業して いたこと。
- フォークの位置ごとに変化する、フォークリフト運転席から死角となるエリア を写真と図で示した注意喚起表示を掲示し、リフトマン、作業者双方の意識啓発 を図っていたこと。



フォークリフト作業計画書



フォークの死角エリア啓発掲示

ウ 転落災害防止

○ ウイング車の荷台への昇降にあたり、昇降設備を用意し、適切に使用していた こと。



荷台への昇降設備の使用

② 指摘事項及び改善事項

なし

❸ 質問事項(→ 回答)

- ・ラックの枠から商品がはみ出しているが問題はないか?
 - ⇒ 注意喚起表示し、作業時の事故防止に努める。



- ・シャーシーの「お辞儀防止台」兼「連結禁止表示」の部材が劣化しているように見 えるが問題はないか?
 - ➡ 強度上の問題はないが、表層部が経年劣化しているので早急に補修する。



開 会 式



会場に入場する団員



挨拶をされる九州総支部野畑総支部長



挨拶をされる福岡労働局千葉局長



門司支部赤澤推進委員長の発声による指差唱和

督励巡視結果発表会議



船内班発表の模様



沿岸班発表の模様



講評をされる福岡労働局石橋安全課長



閉会挨拶をされる門司支部中島支部長

IV 解団式(7月25日(金))

「解団式」は、門司港巡視結果発表等会議を終了した午後1時20分からプレミアホテル 門司港において行われた。

桝野団長によるこの4日間の総括挨拶があり、次いで、解団式のために駆けつけられた笹田業務委員長から藤木会長のメッセージの代読とご挨拶があり、解団式を終了した。

その後、団員反省会及び意見交換会を行い、全日程を無事終了した。



会長メッセージを代読・挨拶をされる笹田業務委員長

令和7年度主要港督励巡視解団式 藤木会長メッセージ

大変暑い中、4日間の主要港督励巡視を終えられ、誠にお疲れ様でした。

桝野団長を始め、団員の皆様のご活躍により立派な成果を収め、無事に終了されましたことに、心から感謝申し上げます。

巡視結果発表会議では、活発なご意見、ご質問やアドバイスがあったと聞き及んでいます。

まさに、しっかりとした督励巡視と交流が行われたものと思います。

厚生労働省や各労働局、各労働基準監督署の担当者の皆様におかれましては、各港において巡視にご同行の上、適切なご指導とご助言をいただいたことに心より感謝申し上げます。

団員各位におかれましては、帰られてから、今回の督励巡視で体得されました成果 を各港での今後の労働災害防止活動に十分に活かし、港湾貨物運送事業における労働 災害の撲滅に貢献されますことを期待いたします。

これからも厳しい暑さが続きますが、各団員とも、くれぐれも健康に留意してご活躍ください。

解団式に当たり、督励巡視の成功を共に喜び、また、関係各位のご尽力に対し、改めて、敬意と感謝の意を表しご挨拶といたします。

ありがとうございました。

令和7年7月25日

港湾貨物運送事業労働災害防止協会 会長 藤木幸太

V **団員写真**(全員、門司港船内班・沿岸班の順。プレミアホテル門司港にて撮影)









新幹線の到着を待つ団員



在来線で移動中の団員